

発生動向の概況

インフルエンザが引き続き流行しています。県内の定点当たり報告数は、第50週 37.3人、第51週 33.5人と徐々に減少していますが、依然高い値です。地域別では、今治地区と松山市では定点当たり40人を、松山地区と八幡浜地区では30人を、四国中央、西条、宇和島地区では20人を超えています。全ての地区で流行のピークは過ぎたように見えますが、今治地区と八幡浜地区では今回やや増加しました。例年では季節性のインフルエンザが発生する時期ですが、今のところ新型インフルエンザウイルスのみ検出されています。最近の5週間（第47～51週）の報告患者の年齢割合を見ると、5～9歳の患者が中心ですが、4歳以下と20歳以上の割合が増加しています（下図「インフルエンザ年齢別報告割合（県内）」参照）。これから本格的なインフルエンザシーズンを迎えますので、新型、季節性ともにインフルエンザの動向には警戒が必要です。感染予防のため、咳エチケット、人ごみでのマスク着用、手洗い、うがいに努めましょう。発熱や咳、体調不良などインフルエンザの症状があり、呼吸困難、嘔吐、異常行動、意識がもうろうとしているなど重症化の兆候がある場合は速やかに医療機関を受診してください。また、症状が軽く重症化の兆候がない場合は、マスクをしたうえで、できるだけ日中に身近な医療機関を受診してください。

RSウイルス感染症は、八幡浜地区を除く全域で急増し、例年並みの発生状況となりました。感染性胃腸炎は、県下全域で発生しています。例年ではノロウイルスによる胃腸炎が多発する時期ですが、過去10年の同時期（定点当たりの平均19.7人）に比べ、発生レベルのきわめて低い状況です。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、水痘（みずぼうそう）は、増減を繰り返しながら県下全域で散発しています。

県内での感染症発生状況

全数把握感染症（結核は除く）

- 四類感染症：レジオネラ症 1例
- 五類感染症：急性脳炎 1例（日本紅斑熱による脳症）
クロイツフェルト・ヤコブ病 1例（孤発性）

新型インフルエンザ等感染症（クラスターサーベイランスによる集計。医療機関および社会福祉施設等を対象。）

新型インフルエンザ（A/H1N1） 集団発生 13件

* 12月14日（第51週）以降、報告対象施設から保育所が除外されました。

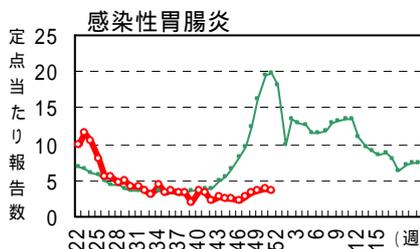
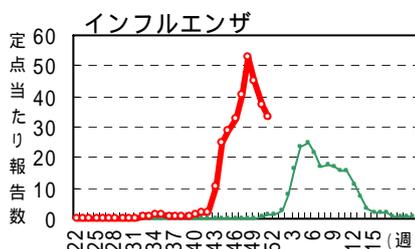
定点把握感染症（数字は最新週の定点当たり報告数、発生地区は保健所名を記載）

	愛媛県推移	県内の傾向
インフルエンザ	→ 33.5	流行が続いているが減少傾向。今治、八幡浜地区で増加。他の5地区は減少。
RSウイルス感染症	→ 0.6	例年の同時期程度に急増。四国中央、松山、宇和島地区で多発。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→ 0.5	県内全域で発生が見られるが、例年の同時期に比べ少ない。
感染性胃腸炎	→ 3.6	県内全域で発生が見られる。八幡浜地区で増加。
水痘	→ 1.2	県内全域で発生が見られる。四国中央地区で多発。

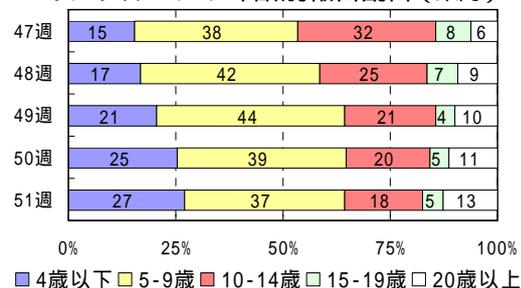
解析評価委員のコメントから

- インフルエンザ：まだ流行していますが、ピークは過ぎたようで、少し減ってきました。（東予）
全体数は減少していますが、9歳以下では横ばいもしくは増加傾向にあり、注意が必要です。（中予）
峠をこした感があります。第二波に注意が必要かと思えます。（南予）
- RSウイルス感染症：やや増加しているようです。年少児ではインフルエンザと鑑別しにくいケースが多く見られます。（中予）
増えてきています。乳幼児の喘鳴が増えています。（南予）
- 感染性胃腸炎：例年に比べると極少数ですが、やや増加しています。（中予）

過去30週の動向（→：過去30週の動向、→：過去10年の平均）



インフルエンザ年齢別報告割合（県内）



（注）本情報での患者数は届出医療機関所在の保健所での集計で、患者の住所を示すものではありません。
感染症情報に関するご意見、ご質問は eikanken@pref.ehime.jp までお願い致します。

病原体検出情報

平成 21 年 12 月 22 日現在

7 月以降のインフルエンザウイルス検出状況を表に示しました。現在までにインフルエンザ様疾患患者検体から検出されたウイルスは、全て新型インフルエンザウイルスです。第 50～51 週に、東予では 4 名（5 歳、6 歳、13 歳、27 歳が各 1 名）、中予では 6 名（3 歳が 2 名、4 歳、8 歳、16 歳、17 歳が各 1 名）、南予では 2 名（3 歳、6 歳が各 1 名）の患者から新型インフルエンザウイルスが検出されています。また、12 月 9 日～12 月 21 日までに当所に搬入された入院症例（6 件）の内、インフルエンザウイルスが検出された症例（4 件）は、全て新型インフルエンザでした。

全国的にも検出されているインフルエンザウイルスのほとんどが新型インフルエンザです。季節性インフルエンザは、AH3 型（A 香港型）が 9 月に 11 例と第 44 週に 1 例の計 12 例、B 型が 47 週に 1 例、AH1 型（A ソ連型）は 36 週以降報告されていません。

下気道炎等呼吸器感染症の検体が徐々に増加していますが、今のところ何も検出されていません。

インフルエンザウイルス検出状況（入院症例、集団発生事例を除く）

型	保健所	期間											計
		7月	8月	9月	10月	45週 11/2-	46週 11/9-	47週 11/16-	48週 11/23-	49週 11/30-	50週 12/7-	51週 12/14-	
新型	四国中央				1		1			3			5
	西条	1	4	1	11		1	1	1	2	2	2	26
	今治		3	3	7	5	12	6					36
	松山市		1		6	1	3	2	3	4	2	2	24
	松山		1	1	1	1	1	1	1	1		2	10
	八幡浜												
	宇和島		3				1	1	1	1	1	1	9
計		1	12	5	26	7	19	11	6	11	5	7	110

過去 5 週 検出病原体（インフルエンザウイルスを除く）

（11 月 16 日以降採取検体）

週	採取期間	発生地区	臨床診断名	検出病原体	検体	例数
48	11/23～11/29	松山市	感染性胃腸炎	アデノ	糞便	1

月別病原体検出結果

検出病原体	検体採取月	2009						合計
		7	8	9	10	11	12	
ウイルス	新型インフルエンザ	1	12	5	26	49	17	110
	ムンプス	1						1
	ノロ				1			1
	サポ	1						1
	アデノ				1	3		4
	アデノ 2		1	1	1			3
	ウイルス計	3	13	6	29	52	17	120
細菌	下痢原性大腸菌	1						1
	インフルエンザ菌 b 型				1			1
	細菌計	1			1			2

臨床診断名別検出結果（2009 年 10 月以降採取検体）

検出病原体	インフルエンザ	感染性胃腸炎	細菌性髄膜炎	不明熱	合計
新型インフルエンザ	92				92
ノロ		1			1
アデノ		4			4
アデノ 2				1	1
ウイルス計	92	5		1	98
インフルエンザ菌 b 型			1		1
細菌計			1		1

愛媛県 定点把握五類感染症 2009年 第 51 週 (2009.12.14 ~ 12.20)

患者報告数		1) インフルエンザ	小児科定点										眼科定点		基幹定点						
			RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	菌咽頭炎	A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	2) 細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎		3) マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
保健所別	四国中央	105	3				4	12	5						-	-			1		四国中央
	西条	249	1			3	27	5			4	5									西条
	今治	346	3	4	1	13	10					3							2		今治
	松山市	694	7	3	8	56	10					3				1	-	-	-	-	松山市
	松山	248	6		2	13	1	1				5			1						松山
	八幡浜	255				18	1					1			1				2		八幡浜
宇和島	147	4		6	4	7					2									宇和島	
週推移	愛媛県	2044	24	7	20	135	46	6	4	19			2		7			5		愛媛県	
	1週前	2273	12	4	27	147	48	4	5	26	1	2	3		5			4		1週前	
	2週前	2749	7	1	17	137	45	5	4	27		4	9		11			5		2週前	
	3週前	3225	6	3	14	118	61	1	9	25		1	4		6			2		3週前	
年齢別	0-5ヶ月	6	1			1									1					0	
	6-11ヶ月	26	6	1		5	2	1			8								2	1-4	
	1	88	10			13	6	1		11								2		5-9	
	2	119	4	1	2	21	9	1												10-14	
	3	141	1		1	10	9													15-19	
	4	174	2	2	3	15	10	2	1									1		20-24	
	5	185		1	3	13	4	1	1											25-29	
	6	176		1		13	4						1							30-34	
	7	173			1	4	1		1											35-39	
	8	128		1	2	8			1					1						40-44	
	9	101			1	6														45-49	
	10-14	367			7	18	1													50-54	
	15-19	100																		55-59	
	20-29 ⁴⁾	77				8														60-64	
	30-39	89													4					65-69	
	40-49	50													1					70-	
	50-59	28																			
60-69	11																				
70-79 ⁵⁾	3													1							
80-	2																				

定点当たり報告数

保健所別	四国中央	21.0	1.0			1.3	4.0	1.7						-	-			1.0		四国中央	
	西条	24.9	.2		.5	4.5	.8		.7	.8										西条	
	今治	43.3	.6	.8	.2	2.6	2.0			.6					5.0			2.0		今治	
	松山市	40.8	.6	.3	.7	5.1	.9			.3					.3	-	-	-	-	松山市	
	松山	35.4	1.5		.5	3.3	.3	.3		1.3				.3							松山
	八幡浜	36.4				4.5	.3			.3				.3					2.0		八幡浜
宇和島	21.0	1.0		1.5	1.0	1.8			.5											宇和島	
愛媛県	33.5	.6	.2	.5	3.6	1.2	.2	.1	.5				.1	.9				.8		愛媛県	

- 1) 鳥インフルエンザを除く。 2) 髄膜炎菌性髄膜炎は除く。 3) オウム病を除く。
 4) 小児科定点疾患については20歳以上の全患者数を"20-29"に計上。 5) 眼科定点疾患については70歳以上の全患者数を"70-79"に計上。

(参考) 保健所別定点数

定 点 数	愛媛県	四国中央	西 条	今 治	松山市	松 山	八幡浜	宇和島
インフルエンザ定点	61	5	10	8	17	7	7	7
小児科定点	37	3	6	5	11	4	4	4
眼科定点	8	-	1	1	3	1	1	1
基幹定点	6	1	1	1	-	1	1	1

注) 表中の報告数は12月22日集計分であり、その後の報告数は次週以降に反映されます。

愛媛県 定点把握五類感染症 2009年 第 50 週 (2009.12.7 ~ 12.13)

	患者報告数	小児科定点											眼科定点		基幹定点					
		インフルエンザ ¹⁾	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 ²⁾	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 ³⁾
保健所別	四国中央	144			1	13	3	2		4				-	-			1		四国中央
	西条	326			4	28	14		4	5		2								西条
	今治	330	1		2	11	1	1	1	5			1	3				1		今治
	松山市	819	8	4	9	64	4			5			1		-	-	-	-		松山市
	松山	253	1		5	20	2			4			1							松山
	八幡浜 宇和島	192 209				8 3	9 15	1		3	1			2				2		八幡浜 宇和島
週推移	愛媛県	2273	12	4	27	147	48	4	5	26	1	2	3		5			4		愛媛県
	1週前	2749	7	1	17	137	45	5	4	27		4	9		11			5		1週前
	2週前	3225	6	3	14	118	61	1	9	25		1	4		6			2		2週前
	3週前	2458	5	3	18	101	34		3	32		1	3		2			3		3週前
年齢別	0-5ヶ月	5	2			2	1			1										0
	6-11ヶ月	28	3	2		10	3			15			1					2		1-4
	1	93	4	2		22	10		1	10								2		5-9
	2	102	1		1	16	9					1								10-14
	3	153			2	16	9	1												15-19
	4	193	2		5	20	6		2											20-24
	5	236			1	19	4	2												25-29
	6	212			7	9	2		1											30-34
	7	177			5	8	2						1							35-39
	8	140			2	3	2													40-44
	9	129			3	5		1	1											45-49
	10-14	446				15							1							50-54
	15-19	106				2														55-59
	20-29 ⁴⁾	71			1						1				2					60-64
	30-39	100													1					65-69
	40-49	52																		70-
	50-59	20													1					
60-69	5													1						
70-79 ⁵⁾	3																			
80-	2																			

定点当たり報告数

保健所別	四国中央	28.8			.3	4.3	1.0	.7		1.3				-	-			1.0		四国中央
	西条	32.6			.7	4.7	2.3		.7	.8		.3								西条
	今治	41.3	.2		.4	2.2	.2	.2	.2	1.0			.2	3.0				1.0		今治
	松山市	48.2	.7	.4	.8	5.8	.4			.5			.1		-	-	-	-		松山市
	松山	36.1	.3		1.3	5.0	.5			1.0			.3							松山
	八幡浜 宇和島	27.4 29.9				2.0 .8	2.3 3.8	.3		.8	.3			2.0				2.0		八幡浜 宇和島
愛媛県	37.3	.3	.1	.7	4.0	1.3	.1	.1	.7	.0	.1	.1	.6				.7		愛媛県	

- 1) 鳥インフルエンザを除く。 2) 髄膜炎菌性髄膜炎は除く。 3) オウム病を除く。
 4) 小児科定点疾患については20歳以上の全患者数を"20-29"に計上。 5) 眼科定点疾患については70歳以上の全患者数を"70-79"に計上。

(参考) 保健所別定点数

定 点 数	愛媛県	四国中央	西 条	今 治	松山市	松 山	八幡浜	宇和島
インフルエンザ定点	61	5	10	8	17	7	7	7
小児科定点	37	3	6	5	11	4	4	4
眼科定点	8	-	1	1	3	1	1	1
基幹定点	6	1	1	1	-	1	1	1

注) 表中の報告数は12月15日集計分であり、その後の報告数は次週以降に反映されます。

全国 定点把握感染症 第49、50週 (2009.11.30 ~ 12.13)

(定点当たり報告数)

	1)	小児科定点											眼科定点		基幹定点					
		インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	2) 細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	3) クラミジア肺炎	
49週	愛媛県	45.1	.2	.0	.5	3.7	1.2	.1	.1	.7		.1	.2		1.4			.8		
	近畿県	香川県	40.4	.4	.2	.8	3.2	.8	.6		.8		.3	.2		.7				
		徳島県	51.0	.3	.1	.4	1.9	1.4	.3		.5		.0	.3						
		高知県	32.3	.6	.1	.4	2.2	.5	.1	.0	.4		.2	.3		.3			.4	
	全 国	31.8	.6	.1	1.0	3.9	1.3	.2	.1	.5	.0	.1	.7	.0	.4	.0	.0	.3	.0	
	北海道	16.5	.9	.3	2.1	1.5	1.9	.2	.1	.5	.0	.1	1.5	.0	.3			.3		
	東北	35.7	.7	.1	1.1	3.1	1.7	.5	.1	.5	.0	.1	.9	.0	.2			.5		
	関東	25.0	.2	.1	1.0	3.9	1.1	.2	.1	.5	.0	.1	.8	.0	.5	.0	.0	.4	.0	
	甲信越北陸	37.6	.5	.2	1.0	3.9	1.7	.3	.1	.5	.0	.0	.8		.3			.4	.1	
	東海	34.3	.4	.1	.6	4.4	.9	.1	.0	.5	.0	.0	.4		.1	.0	.0	.2		
近畿	25.1	.7	.1	.7	4.3	1.2	.1	.0	.4	.0	.0	.6		.2	.0	.0	.2	.0		
中国四国	42.2	.8	.1	1.0	3.1	1.3	.3	.0	.6	.0	.1	.4		.7	.0		.3			
九州沖縄	43.5	1.3	.2	1.0	5.0	1.9	.2	.1	.7	.0	.1	1.0	.0	.7	.0	.0	.3	.0		

(2009.12.9集計)

50週	愛媛県	37.3	.3	.1	.7	4.0	1.3	.1	.1	.7	.0	.1	.1		.6			.7		
	近畿県	香川県	28.1	.4	.2	.8	3.2	.4	.4	.0	.6	.1	.2	.1						
		徳島県	39.6	.7	.1	.5	2.0	1.6	.1		.4		.0	.6						
		高知県	28.1	.7		.5	3.4	1.1	.4	.1	.7	.1	.2	.4					.3	
	全 国	27.4	.8	.1	1.1	4.8	1.3	.3	.1	.5	.0	.1	.7	.0	.4	.0	.0	.3	.0	
	北海道	14.2	1.1	.2	2.2	2.3	1.8	.2	.0	.3	.0	.0	1.1		.3			.3		
	東北	33.1	.9	.2	1.0	4.1	1.5	.5	.1	.6	.0	.1	.8	.1	.2			.8	.0	
	関東	20.9	.3	.1	1.2	4.7	1.2	.3	.1	.5	.1	.0	.9	.0	.5	.0	.1	.5	.1	
	甲信越北陸	34.3	.7	.2	1.2	4.3	1.4	.2	.1	.5	.0	.0	.5	.0	.3	.0		.4	.1	
	東海	33.1	.6	.1	.7	5.3	1.0	.1	.1	.5	.0	.0	.3	.0	.1	.0		.2		
近畿	22.9	.9	.1	.8	5.1	1.2	.2	.1	.5	.0	.0	.7	.0	.2	.0	.0	.1			
中国四国	31.9	1.1	.2	1.2	3.8	1.2	.4	.1	.5	.0	.1	.3		.6	.0	.0	.2	.0		
九州沖縄	35.7	1.5	.2	.9	6.5	1.7	.3	.1	.7	.0	.1	1.2	.0	.6	.0	.0	.2	.0		

(2009.12.16集計)

1) 鳥インフルエンザは除く。 2) 髄膜炎菌性髄膜炎は除く。 3) オウム病を除く。

全国 全数把握感染症 第49、50週 (2009.11.30～12.13)

疾病名	二類		三類感染症					四類感染症														五類感染症																				
	(1) 急性灰白髄炎	(2) 結核	(1) コレラ	(2) 細菌性赤痢	(3) 腸管出血性大腸菌感染症	(4) 腸チフス	(5) パラチフス	(1) E型肝炎	(3) A型肝炎	(4) エキノコックス症	(6) オウム病	(10) Q熱	(12) コクシジオイデス症	(18) つつが虫病	(19) デング熱	(23) 日本紅斑熱	(24) 日本脳炎	(28) ブルセラ症	(30) 発疹チフス	(32) ボツリヌス症	(33) マラリア	(34) 野兔病	(35) ライム病	(39) レジオネラ症	(40) レプトスピラ症	(1) アメーバ赤痢 (E型及びA型肝炎を除く)	(2) ウイルス性肝炎	(3) 急性脳炎	(4) クリプトスポリジウム症	(5) クロイツフェルト・ヤコブ病	(6) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症	(7) 後天性免疫不全症候群	(8) ジアルジア症	(9) 髄膜炎菌性髄膜炎	(10) 先天性風しん症候群	(11) 梅毒	(12) 破傷風	(13) ウルコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	(14) パンコマイシン耐性腸球菌感染症	(14-2) 風しん	(14-3) 麻しん	
第49・50週報告数	全国	601	6	59	1		1						73	2	1	1								23	1	26	2	19		1	26	2			19	1			1	10		
ブロック別	四国	愛媛県	5													1																										
	香川県	3																																								
	徳島県	3			1																																					1
	高知県	11																						1																		
	北海道	4			1																				1																	
	東北	47			4									20													3		2													1
	関東	234		5	22	1								19											8		14	1	7								16					7
	甲信越北陸	36		1	2									1											8		1															
	東海	93			4									4	1										3		1		2												1	
	近畿	62			13									1											2		3		4								2	1				1
中国四国	54			3									4			1								1		2	1	2													1	
九州沖縄	71			10									24	1		1								1		2		2														
週推移	全国	50週	270	1	23	1		1					30	2		1								12	1	9	1	9								10	1			1	7	
	49週	331		5	36								43			1								11		17	1	10								9					3	
	48週	238		2	35	1							20	1										18		4	1	14							5		1				3	
	47週	235	1		26	1	1	1	2				23	1	3						1			9		6	2	11		3					3					4		
2009年累積数	全国	24856	16	175	3751	29	25	55	108	23	20	2	2	387	88	122	3	2		54			7	655	12	724	202	447	16	133	98	1324	70	10	1	642	108		101	143	726	
	四国	愛媛県	258		2	68			1							10								6		4	3	7		1	1	2				4	1				6	
	香川県	218			51																			8		2		2								3	2				5	
	徳島県	195			17			1					2		3					1				5		5		1								2					2	
	高知県	157			19								4		6	1								7	1	2	3	5		1	1	3				5	1			1		
	北海道	732		2	87	1		24	1	21	2												2	20		20	4	24	2	1	4	30	3				13	8		9	4	17
	東北	1390		9	321	1	1	3	17	1	1			133	3						2			56		40	10	30	9	12	5	26	4			24	8		3	4	39	
	関東	9085	10	92	865	17	15	14	38	1	5	1	2	89	46	6		2		40		2	179	2	289	70	165	4	39	35	660	36	5		279	22		45	52	394		
	甲信越北陸	1204	1	10	256			1	4					22	3					2			1	88	1	30	3	39		12	5	32	1		1	16	8		5	7	38	
	東海	3420	2	26	351	3	5	6	11		3			32	10	32							2	107	1	81	23	38		23	15	124	3	1		99	5		5	15	48	
近畿	3780	3	10	572	4	1	1	23		5	1		7	17	16	1			7				106		166	42	82	1	17	18	279	15			75	14		16	27	92		
中国四国	2230		8	408	2	1	1	5		2			23		38	1				1			64	1	50	29	35		16	11	62	1	1		35	12		4	8	52		
九州沖縄	3015		18	891	1	2	5	9		2			81	9	30	1				2			35	7	48	21	34		13	5	111	7	3		101	31		14	26	46		

・医療機関での診断日をもとに集計。集計日以降の報告数は、次週以降の累積に反映されます。
 ・新型インフルエンザは掲載していません。

(2009.12.16集計)